

(一財) 食品産業センター

複数品目

基本情報

対象国	アメリカ・台湾・香港	輸出額	53.7億円（※）	加盟者数	116団体・128社
主な販売先	小売、外食、食品製造業	活動地域	全国	品目数	複数
希望スキーム	直接/間接輸出	備考	※財務省貿易統計より台湾に向けたミックス粉、乾麺、めんつゆ、お好み焼ソース、醤油の輸出額を合計		

日本食を海外の食生活に浸透させるためPR活動を実施し、関連する加工食品の輸出促進を図る

食品産業界唯一の中核的・横断的団体として、食品産業界の意見を集約・調整して行政や関係団体に要請・提言を行うとともに、食品産業界の共通の課題解決に向けて取り組んでいる。

団体概要

所在地	東京都千代田区
設立年	1970年
事業内容	食品産業界の意見の集約・調整・提言/業界共通の課題解決
認証取得	-
生産規模	-



こだわり食品フェアの様子

取組の経緯/概要

- ・国を挙げて取り組む農林水産物・食品の輸出拡大戦略は、食品産業全体にとって大きなビジネスチャンスとなる。一方で輸出経験の少ない事業者にとってはハードルの高い課題。
- ・加工食品の輸出では、調理方法、食べ方、アレンジなど日本食に興味をもってもらうプロモーション活動を実施するプロセスが必要。これには時間と手間がかかり、個社での対応には限界がある。複数の事業者が協力して取り組むことが効果的である。
- ・加工食品輸出産地確立緊急対策では、「天ぷら・お好み焼き・麺類」を対象に日本食普及のための動画コンテンツ作成や日本の加工食品のキャンペーンを行うほか、事業者の輸出促進を支援するためにECサイト・ポップアップストア出展の支援や輸出業務セミナーを実施する。

取組の成果

- ・輸出額：49.57億円（2021年）→53.70億円（2022年）
※（財務省貿易統計より）
対象地域：台湾、対象品目：ミックス粉、乾麺、めんつゆ、お好み焼ソース、醤油
- ・特設輸出支援サイトのPV数：26,441PV（2021年11月～2023年2月）

取組のポイント

日本食の輸出を促進するため、各事業者への輸出情報の提供や食品横断的なPR、海外での出店支援を行っている

輸出を進める上で抱えていた課題

TASK

課題

1

外国人が日本食・食文化に接する機会が少なく、日本の加工食品に関する認知度が低い

TASK

課題

2

自社の商品が海外で受け入れられるかどうかの事業判断材料が無い事業者が存在

TASK

課題

3

輸出情報の浸透が進んでおらず、地域の特色ある加工食品の輸出を行う事業者が少ない

輸出成功のポイント

動画コンテンツの制作と配信

映像制作会社・調理専門学校講師に依頼し、日本食・日本食文化の魅力を伝える高品質の動画コンテンツを制作・配信

ECサイト・ポップアップストア出店の支援

台湾・香港にて実施。出店期間中には、公式HPやSNSの活用、タイアップ企画などを開催し集客を図る

輸出業務セミナーの実施

輸出セミナーをWEBで無料開催し、輸出先国規制への対応・経路開拓・貿易業務などの輸出に関する情報を提供

サプライチェーン別取組

輸出可能な日本食の発掘

- 日本食に興味を持った海外の方々が、容易に商品を手できるよう、加工食品の海外向けWebショールームを構築し、輸出につなげる

加工食品全体の輸出PR

- HPに美味しさ・作り方・食べる場など日本食の魅力を伝える動画や画像をアップ
- 海外インフルエンサーによる日本食情報の発信・拡散

飲食店とのタイアップ

- 和食料理人にメニューを開発してもらい、飲食店でメニュー提供を行うことで現地の方が日本食を食べる機会を提供し、ECサイト等への集客につなげる

商品選定・開発

流通

販売

今後の輸出拡大に向けて

日本食の魅力を伝える動画コンテンツ作成など日本食の普及活動とともに、関連する日本の加工食品の輸出機会拡大を図るため、ECサイト・ポップアップストアへの出店支援や輸出業務セミナー開催などの事業者支援活動をより充実させていきます。また、様々な業種の事業者が共同で参画し、クラスターを形成できるよう活動していきます。